

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 地域高規格道路 第二阪和国道 <small>わかやまみさき</small> 一般国道26号 和歌山岬道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局						
起終点 自：大阪府泉南郡岬町深日 <small>せんなんぐんみさきちようふけ</small> 至：和歌山県和歌山市大谷 <small>わかやま おおたに</small>		延長 7.2km						
事業概要 一般国道26号は、大阪市から大阪湾沿いに堺市、岸和田市、阪南市など大阪南部の主要都市を通過し、和歌山に至る延長約75kmの主要幹線道路である。 和歌山岬道路は、第二阪和国道の一部を構成し、一般国道26号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、異常気象時通行規制区間を回避した災害に強い安定的な移動・輸送の確保、救急医療活動の支援及び地域活性化の支援等を目的に計画された道路である。								
H19年度事業化	S63年度都市計画決定 (H21年度、H22年度変更)	H23年度用地着手 工事着手 —						
全体事業費 373億円		事業進捗率 約5%						
計画交通量 22,300台/日		供用済延長 —						
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C (事業全体) 1.3</td> <td style="text-align: center;">総費用 (残事業)/(事業全体) 287/333億円</td> <td style="text-align: center;">総便益 (残事業)/(事業全体) 423/423億円</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> 基準年 平成23年 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業) 1.5</td> <td style="text-align: center;"> 事業費：260/306億円 維持管理費：27/27億円 </td> <td style="text-align: center;"> 走行時間短縮便益：350/350億円 走行経費減少便益：54/54億円 交通事故減少便益：19/19億円 </td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 287/333億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 423/423億円	基準年 平成23年	(残事業) 1.5	事業費：260/306億円 維持管理費：27/27億円	走行時間短縮便益：350/350億円 走行経費減少便益：54/54億円 交通事故減少便益：19/19億円
B/C (事業全体) 1.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 287/333億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 423/423億円	基準年 平成23年					
(残事業) 1.5	事業費：260/306億円 維持管理費：27/27億円	走行時間短縮便益：350/350億円 走行経費減少便益：54/54億円 交通事故減少便益：19/19億円						
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.1~1.4 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=1.3~1.6 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.2~1.4 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=1.3~1.6 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.2~1.3 (事業期間 ±20%) 事業期間 : B/C=1.4~1.5 (事業期間 ±20%)								
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 ・一般国道26号は交通容量を超過しており、交通渋滞が発生。整備により交通混雑の緩和が期待できる。 ②交通安全の確保 ・事故危険区間が存在する一般国道26号から、走行性の高い和歌山岬道路へ交通が転換することにより、交通事故発生件数の減少が期待される。 ③災害に強い安定的な移動・輸送の確保 ・異常気象時通行規制区間の回避により、台風や集中豪雨の発生時にも安定的な移動・輸送が期待できる。 ④救急医療活動の支援 ・岬町から最寄りの第三次救急医療施設（日本赤十字社和歌山医療センター）までの所要時間が短縮（28分→17分）され、救急医療活動の支援が期待できる。 ⑤地域活性化の支援 ・大規模な宅地造成計画地域にランプを設置し、定住促進、郊外型大型ショッピングセンター誘致の支援など、地域活性化が期待される。 ⑥関西国際空港へのアクセス向上 ・和歌山市～関西国際空港への所要時間が短縮。（49分→43分） ⑦阪南港へのアクセス向上 ・和歌山市～阪南港への所要時間が短縮。（52分→47分） ⑧日常活動圏中心都市へのアクセス向上 ・和歌山市～泉南市への所要時間が短縮。（40分→28分） ⑨主要観光地へのアクセス向上 ・沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 （みさき公園：観光入込客数 約45.5万人/年、和歌山城：観光入込客数 約16万人/年）								
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： ・第二阪和道路建設促進期成同盟会（S34.12設立 岬町長、阪南市長等）、和歌山市第二阪和国道延伸促進期成同盟会（H3.2設立 和歌山市和歌山岬道路沿線自治会）、阪南市・岬町第二阪和国道延伸連絡								

協議会（S58.11設立 阪南市長、岬町長等）、和歌山市・岬町第二阪和国道延伸連絡協議会（H16.7設立 和歌山市長、岬町長等）等より早期整備の要望を受けている。

大阪府知事の意見：

- ・平成27年度供用を目標に事業が進められているところだが、一日も早い全線整備に向け、事業推進を図られたい。
- ・事業の実施にあたっては、道路構造や施工方法について十分に検討の上、より一層のコスト縮減に努められたい。
- ・今後の事業を円滑に進めるため、供用済区間の適切な維持管理・安全対策と併せ、沿道環境への配慮や交通安全対策、地域振興などに関する地域住民の意見を十分に踏まえながら、事業の推進に努められたい。

和歌山県知事の意見：

- ・国道26号和歌山岬道路は、和歌山県と大阪府との連携を強化し、広域的なネットワークを形成する、重要な府県間道路であります。
- ・また、国道26号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、異常気象時通行規制の解消、救急医療活動の支援等の整備効果を高めるためにも、早期の全線供用が必要であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道26号和歌山岬道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

和歌山岬道路と並行する一般国道26号は、依然として交通量が交通容量を超過しており、和歌山市街地では交通渋滞が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在、調査設計を推進中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、平成27年度の暫定2車線供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、ランプ形状の見直しや新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

再評価結果(平成24年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 第二阪和国道 一般国道26号 ^{わかやまみさき} 和歌山岬道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：大阪府泉南郡岬町深日 至：和歌山県和歌山市大谷	延長	7.2km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】

